

第17回京都府がん医療戦略推進会議緩和ケア部会 議事概要

- 1 日 時 令和4年9月30日（金）午後6時00分～午後8時00分
- 2 開催方法 Web開催
- 3 出席者 別添一覧のとおり
- 4 内 容 主な内容は以下のとおりである。

開会あいさつ <部会長>

1 第15回京都府緩和ケア部会（R34年度開催）議事概要 <部会長>

1) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第9回 緩和ケア部会 概要

- ・2024年度からの5年間の体制を協議。
 - 生命の危機にある患者とその家族への緩和ケア、府内の緩和ケアの均てん化をデザインしたい。
 - 府内の各がん拠点病院の後送病院についてアンケートを実施。

2) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第9回 緩和ケア部会の議題から

- ・京都府の現状として、看取り場所が不明ながん患者が約30%存在している。
- ・後送病院の緩和ケアの質を測る効率的な方法を模索したい。
- ・京都府緩和ケア部会の取り組みとしてACPやスタッフの教育といった部分があるが、緩和ケア病棟への紹介フォーマットの統一や京都府HPへの掲載も重要となる。
- ・15個の課題を、実践、教育、質向上・整備に分類し、優先順位を付けて順次取り組んでいきたい。

【課題1】

●地域ぐるみのACPを含めたケアパスの策定（三菱京都病院）

- ・ケアパスとは、患者の病状等の時期により、どのような医療介入ができるかを示したものである。京都府として既に流れはできているので、それを患者に示してはどうか。
- ・在宅医療も関わるので、医師会にもご協力いただきたい。
 - がん地域連携パスとの整合性はどうか。がん地域連携パスに緩和ケアを含めるのが良いが、別に作成するとなると患者が混乱するのではないか。（医師会）
 - 診療部分はがん地域連携パスを踏襲しつつ、ACPを含め、患者に分かりやすい内容にしたい。（部会長）
 - がんになった当初から、治療や生活に係わる全般を患者にイメージしてもらうことが重要であり、それを補うためにパスを作成したい。（三菱京都病院）
- 治療に意欲を持っている患者にとっては悲観や怒りを招くのではないか。また、ACPとの兼ね合いはどうか。（京大病院）
- 根治見込みのあるがん患者には適用すべきでない。ACPを進めるきっかけ作りに活

用いただけたらと思う。(三菱京都病院)



- ・三菱京都病院を中心に、作成していただく。

【課題2・3】＜府立医大＞

- ・施設単位では取り組めない、解決できない問題をアンケートから抽出したものを資料に提示している。
 - ・基本的緩和ケアも専門的緩和ケアも必要に応じて進めてきているが、基本的緩和ケアをシステム化の方が簡便なので、まずはそちらを進めていきたい。
 - ・看護師については、ELNEC でがん拠点病院各施設からファシリテーターを出していただける段階に入り、今後、どのような方向で看護師の育成を進めて行くかが課題となっている。一緒に進めていただける方を募りたい。
 - ・医師については、府内の均てん化という部分で北部でも積極的に PEACE を開催いただいているが、他の地域も含め、お困りごとがあれば部会として支援したい。
 - ・ニーズがあれば、後送病院に対する緩和ケアチーム結成支援も行いたい。(音羽病院)
 - ・介護職への教育をどうするか。
 - 教育ではなく、短時間のレクチャーでも十分効果が得られる。(三菱京都病院)
 - 府や市単位ではなく、もっと小さなエリアに区分けして勉強会等を行うのが効果的である。(日本バプテスト病院)
 - ⇒施設の所在地により後送病院も異なるので、その点も考慮して関係性を構築する。
- ※介護施設へのアクセスについては、本議事録末尾参照

【課題4～9】＜府立医大＞

- ・がん拠点病院の指定要件の中から、整備等の対応が必要な項目をピックアップした。
- ・課題解決に向けた情報共有ではなく、情報交換の場を定期的に設けたい。
- ・周知の範囲は議題毎に検討。記録として、テーマや人数を残しておく。

【課題12】＜府立医大＞

- ・当面は据え置くが、必要であることは認識いただきたい。

【課題15】＜府立医大＞

- ・緩和ケアの質の測り方について意見をいただくことがある。今後、がん拠点病院の要件に含まれる可能性もあるため、少しずつ情報収集を行いたい。
- ・今後、国から何か話が下りてきたら情報提供を行う。

2 ホスピス・緩和ケア病棟連絡会からの報告＜日本バプテスト病院＞

1) 緩和ケア病棟への紹介の統一

- ・現在、薬師山病院と桂病院、音羽病院が中心となって最終確認の段階に入っている。
- ・診療情報や、現在の有症状、病状説明の状況等、紹介時に必要な情報が網羅されている。

- ・今後、10/26のPCU連絡会で承認され、各施設へ配布となる予定。また、京都府HPでも掲載いただくことを検討している。

2) 京都府ホームページへの掲載について

- ・緩和ケアの提供状況を京都府ホームページで公開したい。
- ・WGを作って、京都府と密に連絡を取り合いながら、1か月単位で調整していくのが良い。
- ・現状、患者向けと医療者向けの情報が混在しており、必要な情報まで辿り着けない。まずは施設情報だけでも良いので掲載いただきたい。
 - ・空床情報については、各施設が自施設のホームページに掲載し、そのURLを京都府HPに載せる方法が一番現実的だと考える。
 - ・一つ一つ着実に進めるために、WGを作っていただきたい。

<京都府から>

- ・京都府がん情報ガイドは最新版が納品間際であり、新しく出来た部分を素早く落とし込むようにする。
- ・京都府HPへの施設情報の掲載については、前回の部会を受けアンケートを実施。23施設から回答を得た。今後、掲載案がまとまり次第、ホームページへアップ予定。
 - ⇒京都府がん情報ガイドは、拠点病院以外ではどの程度配布されているか。(第一日赤)
 - 直近では、地域包括ケアセンターや患者会にしか配布していない。今後、非がん拠点病院への配布を検討したい。(京都府)
 - ⇒送付先として、患者の手に渡りやすいところ(部署)へのアプローチは可能か。

(部会長)

 - がん看護専門看護師や緩和ケア認定看護師がいる施設では、そのような看護師宛てに送付いただくと患者に渡りやすいのでは。(京都岡本記念病院)
 - 府立医大から京都府へ、看護師リストの検索方法を伝える。

↓

- ・情報の即時性については、ホスピス・緩和ケア病棟連絡会と連携を取りながら、京都府HPに掲載を進めて行く。
- ・また、情報の見やすさに関しては、部会と京都府で意見交換できたらと思う。

3. 今後の取り組みについて<府立医大>

- ・資料は、今年8月にまとめられた最新の取り組み状況である。
- ・第3期京都府がん対策推進計画の策定は、京都府の医療計画と並行して進めて行く。

4. 緩和ケア部会のスケジュール<府立医大>

- ・今後のスケジュールは資料のとおり。
- ・2月の苦痛スクリーニング…については、仮で入れているものであり、議題は第18回緩和ケア部会で確定させる。
- ・情報交換会には積極的にご参加いただきたい。

5. まとめ

京都府としてWG（ACP、広報、教育（主に看護師に向けたもの））を作り、情報交換会も設けながら課題解決を目指すこととなった。WGについては、改めて参加の可否を伺う。

<看護施設情報に関するホームページ>

●京都市立病院より

* 京都府老人福祉施設協議会

<https://furoukyou.gr.jp/>

●京都府医師会より

* 京都市情報館

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000200845.html>

* （京都府）介護保険事業所一覧（京都市内の事業所を除く）

<https://www.pref.kyoto.jp/jigyousho/1167194419880.html>